

# J-クレジット制度 プロジェクト計画変更届

2018年2月23日

J-クレジット制度管理者 御中

以下のJ-クレジット制度登録プロジェクトについて、プロジェクト計画の変更を申請いたします。

1. プロジェクト登録情報 ※1 ※2

登録情報	
プロジェクト番号	134
プロジェクト実施者名	株式会社日本海水

- ※1 複数のプロジェクト実施者が参加するプロジェクトの場合には、欄を追加してそれぞれのプロジェクト実施者の情報を記載し、捺印すること。
- ※2 プロジェクト実施者を変更する場合には、欄を追加して新旧のプロジェクト実施者名及び代表者役職・氏名を記載し、捺印すること。

2. プロジェクト計画変更内容

変更申請内容																																															
変更申請回数	1 回目																																														
変更の種別	<input type="checkbox"/> 形式的な変更：プロジェクト実施者の担当者の変更等 ※3 <input checked="" type="checkbox"/> 形式的な変更：認証対象期間の延長 ※4 <input type="checkbox"/> 形式的な変更以外 ※5																																														
変更の概要・事由	① 政府の「地球温暖化対策計画」におけるJ-クレジット制度推進の方針により、J-クレジットの認証期間延長が認められ、現行制度における登録プロジェクトでは最大8年間を認証対象期間とすることが制度上、可能となった為。 *プロジェクト登録申請日；H28.3.22																																														
変更点 ※6	<変更前> 認証予定期間 2016年4月1日～2021年3月31日(5年) <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">認証予定期間 ※1</th> <th colspan="4">2016年4月1日 ～ 2021年3月31日 (5年)</th> </tr> <tr> <th rowspan="10" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: mixed;">排出削減計画 ※2</th> <th>年度</th> <th>ベースライン排出量</th> <th>プロジェクト実施後排出量</th> <th>排出削減量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013年度</td> <td>— t-CO2</td> <td>— t-CO2</td> <td>— t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2014年度</td> <td>— t-CO2</td> <td>— t-CO2</td> <td>— t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2015年度</td> <td>— t-CO2</td> <td>— t-CO2</td> <td>— t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2016年度</td> <td>30,640.50 t-CO2</td> <td>8,473.80 t-CO2</td> <td>22,166 t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2017年度</td> <td>30,640.50 t-CO2</td> <td>8,473.80 t-CO2</td> <td>22,166 t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2018年度</td> <td>30,640.50 t-CO2</td> <td>8,473.80 t-CO2</td> <td>22,166 t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>30,640.50 t-CO2</td> <td>8,473.80 t-CO2</td> <td>22,166 t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2020年度</td> <td>30,640.50 t-CO2</td> <td>8,473.80 t-CO2</td> <td>22,166 t-CO2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>153,202.50 t-CO2</td> <td>42,369.00 t-CO2</td> <td>110,830 t-CO2</td> </tr> </tbody> </table>	認証予定期間 ※1	2016年4月1日 ～ 2021年3月31日 (5年)				排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量	プロジェクト実施後排出量	排出削減量	2013年度	— t-CO2	— t-CO2	— t-CO2	2014年度	— t-CO2	— t-CO2	— t-CO2	2015年度	— t-CO2	— t-CO2	— t-CO2	2016年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2	2017年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2	2018年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2	2019年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2	2020年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2	合計	153,202.50 t-CO2	42,369.00 t-CO2	110,830 t-CO2
認証予定期間 ※1	2016年4月1日 ～ 2021年3月31日 (5年)																																														
排出削減計画 ※2	年度	ベースライン排出量	プロジェクト実施後排出量	排出削減量																																											
	2013年度	— t-CO2	— t-CO2	— t-CO2																																											
	2014年度	— t-CO2	— t-CO2	— t-CO2																																											
	2015年度	— t-CO2	— t-CO2	— t-CO2																																											
	2016年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2																																											
	2017年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2																																											
	2018年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2																																											
	2019年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2																																											
	2020年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2																																											
	合計	153,202.50 t-CO2	42,369.00 t-CO2	110,830 t-CO2																																											

<変更後> 認証予定期間 2016年4月1日～2024年3月31日(8年)																																																					
認証予定 期間 ※1	2016年4月1日 ～ 2024年3月31日 (8年)																																																				
排出削減 計画 ※2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>ベースライン排出量</th> <th>プロジェクト実施後 排出量</th> <th>排出削減量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2013年度</td> <td>— t-CO2</td> <td>— t-CO2</td> <td>— t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2014年度</td> <td>— t-CO2</td> <td>— t-CO2</td> <td>— t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2015年度</td> <td>— t-CO2</td> <td>— t-CO2</td> <td>— t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2016年度</td> <td>30,640.50 t-CO2</td> <td>8,473.80 t-CO2</td> <td>22,166 t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2017年度</td> <td>30,640.50 t-CO2</td> <td>8,473.80 t-CO2</td> <td>22,166 t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2018年度</td> <td>30,640.50 t-CO2</td> <td>8,473.80 t-CO2</td> <td>22,166 t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2019年度</td> <td>30,640.50 t-CO2</td> <td>8,473.80 t-CO2</td> <td>22,166 t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2020年度</td> <td>30,640.50 t-CO2</td> <td>8,473.80 t-CO2</td> <td>22,166 t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2021年度</td> <td>30,640.50 t-CO2</td> <td>8,473.80 t-CO2</td> <td>22,166 t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2022年度</td> <td>30,640.50 t-CO2</td> <td>8,473.80 t-CO2</td> <td>22,166 t-CO2</td> </tr> <tr> <td>2023年度</td> <td>30,640.50 t-CO2</td> <td>8,473.80 t-CO2</td> <td>22,166 t-CO2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>245,120.00 t-CO2</td> <td>67,790.40 t-CO2</td> <td>177,328 t-CO2</td> </tr> </tbody> </table>	年度	ベースライン排出量	プロジェクト実施後 排出量	排出削減量	2013年度	— t-CO2	— t-CO2	— t-CO2	2014年度	— t-CO2	— t-CO2	— t-CO2	2015年度	— t-CO2	— t-CO2	— t-CO2	2016年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2	2017年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2	2018年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2	2019年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2	2020年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2	2021年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2	2022年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2	2023年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2	合計	245,120.00 t-CO2	67,790.40 t-CO2	177,328 t-CO2
	年度	ベースライン排出量	プロジェクト実施後 排出量	排出削減量																																																	
	2013年度	— t-CO2	— t-CO2	— t-CO2																																																	
	2014年度	— t-CO2	— t-CO2	— t-CO2																																																	
	2015年度	— t-CO2	— t-CO2	— t-CO2																																																	
	2016年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2																																																	
	2017年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2																																																	
	2018年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2																																																	
	2019年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2																																																	
	2020年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2																																																	
	2021年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2																																																	
	2022年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2																																																	
	2023年度	30,640.50 t-CO2	8,473.80 t-CO2	22,166 t-CO2																																																	
合計	245,120.00 t-CO2	67,790.40 t-CO2	177,328 t-CO2																																																		

変更の種別	<input type="checkbox"/> 形式的な変更：プロジェクト実施者の担当者の変更等 ※3 <input type="checkbox"/> 形式的な変更：認証対象期間の延長 ※4 <input checked="" type="checkbox"/> 形式的な変更以外 ※5		
変更の概要・事由	② バイオマス燃料の運搬における距離のモニタリング方法として、トンキロ法を採用している。トンキロ法においては、モニタリング頻度についての要求頻度がない。一方、本プロジェクトでは、バイオマスの調達先と輸送ルートに基本的に大きな変更がない為、モニタリング頻度を1回/月から1回/年に変更致し度。		
変更点 ※6	<table border="1"> <tr> <td>                             &lt;変更前&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 距離 1PJ,transport,feedstock-001</li> <li>・ 距離 2PJ,transport,feedstock-001</li> <li>・ 距離 PJ,transport,feedstock-001</li> </ul>                             上記のモニタリング頻度：月                         </td> </tr> <tr> <td>                             &lt;変更後&gt;                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 距離 1PJ,transport,feedstock-001</li> <li>・ 距離 2PJ,transport,feedstock-001</li> <li>・ 距離 PJ,transport,feedstock-001</li> </ul>                             上記のモニタリング頻度：年                         </td> </tr> </table>	<変更前> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 距離 1PJ,transport,feedstock-001</li> <li>・ 距離 2PJ,transport,feedstock-001</li> <li>・ 距離 PJ,transport,feedstock-001</li> </ul> 上記のモニタリング頻度：月	<変更後> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 距離 1PJ,transport,feedstock-001</li> <li>・ 距離 2PJ,transport,feedstock-001</li> <li>・ 距離 PJ,transport,feedstock-001</li> </ul> 上記のモニタリング頻度：年
<変更前> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 距離 1PJ,transport,feedstock-001</li> <li>・ 距離 2PJ,transport,feedstock-001</li> <li>・ 距離 PJ,transport,feedstock-001</li> </ul> 上記のモニタリング頻度：月			
<変更後> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 距離 1PJ,transport,feedstock-001</li> <li>・ 距離 2PJ,transport,feedstock-001</li> <li>・ 距離 PJ,transport,feedstock-001</li> </ul> 上記のモニタリング頻度：年			

<p>変更の種別</p>	<p><input type="checkbox"/> 形式的な変更：プロジェクト実施者の担当者の変更等 ※3</p> <p><input type="checkbox"/> 形式的な変更：認証対象期間の延長 ※4</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 形式的な変更以外 ※5</p>
<p>変更の概要・事由</p>	<p>③ モニタリング項目「原料 2pj,transport.feedstock-001」及び「燃料 pj,transport.feedstock-001」における計量伝票入手先をプロジェクト計画書の記載ミスにより「(株) コウエイ」から「日本製紙木材(株)」に変更。</p>
<p>変更点 ※6</p>	<p>&lt;変更前&gt;</p> <p>(A.4.3 概算等を基づくモニタリング方法(分類C)に関する説明)</p> <p>(原料 2 及び燃料の項目について) 重量は <u>(株) コウエイ</u> にて計量伝票により管理し 1 回/月、データの提供を受けている。搬入重量はトラック計量器により 2 回計量(搬入時及び退出時)し、チップ工場の監視システムに電子データで保管される。総重量に係数(0.687)をかけ、熱回収分のみの重量を把握する。</p> <p>&lt;変更後&gt;</p> <p>(A.4.3 概算等を基づくモニタリング方法(分類C)に関する説明)</p> <p>(原料 2 及び燃料の項目について) 重量は <u>日本製紙木材(株)</u> にて計量伝票により管理し 1 回/月、データの提供を受けている。搬入重量はトラック計量器により 2 回計量(搬入時及び退出時)し、チップ工場の監視システムに電子データで保管される。総重量に係数(0.687)をかけ、熱回収分のみの重量を把握する。</p>

<p>変更の種別</p>	<p><input type="checkbox"/> 形式的な変更：プロジェクト実施者の担当者の変更等 ※3  <input type="checkbox"/> 形式的な変更：認証対象期間の延長 ※4  <input checked="" type="checkbox"/> 形式的な変更以外 ※5</p>
<p>変更の概要・事由</p>	<p>④ 流量計の校正頻度を変更するもの。当該流量計は本プロジェクトにおけるバイオマス発電設備の建設時（2014年）に新規に設置されたものであり、かつ、計量法に定める特定計量器に該当しない。また、出荷時に性能検査を行っており、その検査成績書の誤差は0.02%以下（精度定格±0.1%以下）であった。さらに、測定部は流量変動の少ない、低圧蒸気を測定する箇所であることから、校正頻度を「2年に1回」とする一方、定期検査時に行う計画としていた校正作業は必要に応じ実施するよう「定期検査時に」という検査時期を限定する文言を削除致し度。</p>
<p>変更点 ※6</p>	<p>&lt;変更前&gt;          (A.4.2 計量器を用いたモニタリング（分類B）に関する説明-          ②特定計量器以外の計量器の場合)            ・「FPJ,heat,output-001」における蒸気流量計の構成頻度の変更          →1年に1回の定期検査時にメンテナンス業者にて校正を行う。</p> <hr/> <p>&lt;変更後&gt;          (A.4.2 計量器を用いたモニタリング（分類B）に関する説明-          ②特定計量器以外の計量器の場合)            ・「FPJ,heat,output-001」における蒸気流量計の校正頻度の変更          →2年に1回、メンテナンス業者にて校正を行う。</p>

※3 プロジェクト実施者の社名や担当者・連絡先等の変更、クレジット取得予定者の変更など、プロジェクト計画の内容に直接関係のない変更。

※4 2016年9月27日までにプロジェクト登録が承認されており、延長前の認証対象期間の終了日が2021年3月31日までのプロジェクトに限る。この場合の変更届は、延長前の認証対象期間の内に提出されなければならない。

※5 「3. 審査機関の判断」を記入し必要な書類を添付すること。

※6 プロジェクト計画書において変更する項目を明示したうえで具体的に記述すること。

3. 審査機関の判断 ※7

再妥当性確認の判断	
再妥当性確認の要否	<input type="checkbox"/> 必要（妥当性確認報告書を添付） <input checked="" type="checkbox"/> 不要（確認書を添付）
担当審査機関	
審査機関名	ビューローベリタスジャパン株式会社

※7 形式的な変更の場合は記入不要。

4. 変更申請履歴 ※8

変更申請内容				
変更申請回数	回目	変更申請日	西暦	年 月 日
変更の種別	<input type="checkbox"/> 形式的な変更 <input type="checkbox"/> 形式的な変更以外			
変更の概要・事由				
変更点	<変更前>			
	<変更後>			

※8 過去に変更申請がある場合のみ記入する。過去に複数回計画変更を行っている場合は、欄を追加してそれぞれの計画変更申請の情報を記入すること。